

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ストレングスマネジメント		選択	2	1.2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
間嶋 健	B312	ken.majima	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>人間コミュニケーション学科のディプロマポリシーにある「豊かな人間観」と「多様性を尊重する姿勢」を育むため、多角的な視野を培い、異なる背景や視点を尊重できる、多様な自己表現・コミュニケーションの実践を体験する。</p> <p><概要>本科目は1年次に学び得るコミュニケーションの基礎に重ねて、多様なコミュニケーションの実態を体験させて、学生の視野・視座の拡充・柔軟を促す学際的科目群である。この授業では、「ストレングス」というテーマを、自己および社会上の統制・管理、すなわちマネジメントの観点で見つめ、心身に与えられるストレングスの影響をマネジメントできることが、実生活で如何なる成果・功罪を具備しているか、様々なワークを通して体感してもらい、自分自身の情緒と感性を豊かにさせ、社会実装への展開を考察していく。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	授業では、心理尺度などを使うことがあるので、リッカート尺度の概念的な理解や、基本的な統計学(平均、標準偏差等)について事前学習をしておくことが望ましい。				
教科書	なし				
参考書	なし				
外部教材	なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	ストレングスの理論的背景を自身の行動に活かすことができる。			HSU(1) (2) (3) / HC(1) (3) (5)	
②	ストレングスに関連するスキルを知り、実際に説明することができる。			HSU(4) (5) / HC(2) (6)	
③					
④					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	ガイダンス: スtrenグスとは 授業の概要および、ストレングスの理論について学ぶ Chat GPT の概要と使用方法の説明	講義	授業中に学び思考できた内容をレポートにまとめる。	3	
2	他己紹介	GW	授業中に学び思考できた内容をレポートにまとめる。	4	
3	ストレングス分析①	講義・プレゼンテーション	授業中に学び思考できた内容をレポートにまとめる。	4	
4	ストレングス分析②	GW	授業中に学び思考できた内容をレポートにまとめる。	4	
5	ストレングス分析③	GW・プレゼンテーション	授業中に学び思考できた内容をレポートにまとめる。	4	
6	自身のストレングスの分析-対人関係-	講義・GW	授業中に学び思考できた内容をレポートにまとめる。	4	
7	自身のストレングスの分析-就業-	講義・GW	授業中に学び思考できた内容をレポートにまとめる。	4	
8	フィールドワークとストレングス分析①	GW	授業中に学び思考できた内容をレポートにまとめる。	4	
9	フィールドワークとストレングス分析②	FW	授業中に学び思考できた内容をレポートにまとめる。	4	
10	フィールドワークとストレングス分析③	FW	授業中に学び思考できた内容をレポートにまとめる。	4	
11	フィールドワークとストレングス分析④	GW・プレゼンテーション	授業中に学び思考できた内容をレポートにまとめる。	4	
12	ストレングスを高める方法①	GW・プレゼンテーション	授業中に学び思考できた内容をレポートにまとめる。	4	
13	ストレングスを高める方法②	GW・プレゼンテーション	授業中に学び思考できた内容をレポートにまとめる。	4	
14	ストレングスを高める方法③	GW・プレゼンテーション	授業中に学び思考できた内容をレポートにまとめる。	4	

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

15	授業のまとめ	講義	授業中に学び思考できた内容をレポートにまとめる。	3
----	--------	----	--------------------------	---

達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
				60		40	100	
総合力指標	知識・技術力			20		0	20	
	思考・推論・創造する力			20		0	20	
	協調性・リーダーシップ			0		0	0	
	発表・表現伝達する力			0		0	0	
	コミュニケーション力			0		0	0	
	取組みの姿勢・意欲			10		40	50	
	問題を発見・解決する力			10		0	10	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①	✓	複数のプレゼンテーション機会を設定している。その際の内容、姿勢、協調性などが評価対象となる。				都度講評を行う。	
	②	✓						
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	出席や授業中の姿勢が評価対象となる。				評価基準については都度授業中に説明する。	
	②	✓						
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員	なし							
教員の実務経験								
実践的授業の内容	福祉現場や医療現場での実践経験を活かし、多様な人間関係に伴って発揮されるストレングスのあり方などを解説する。							
そ の 他	1) 毎回の授業では PC を使用する。PC を持参し忘れること、PC が使える状態にない場合には、出席を認めない。 2) 毎回の授業の出欠確認はレポートの提出をもって行う。授業に参加していても、レポートの提出をがない場合には出席と認めない。 3) グループワークを適宜実施する。グループ形成に妨げとなるコミュニケーション形態（特定の人間とだけコミュニケーションをとる等）は減点対象となるため、講師の指示にしたがうこと。 4) Chat GPT を活用した授業を行う。							